

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【公表番号】特表2000-507842(P2000-507842A)

【公表日】平成12年6月27日(2000.6.27)

【出願番号】特願平9-525268

【国際特許分類第7版】

A 6 1 L 29/00

A 6 1 L 15/44

A 6 1 L 27/00

【F I】

A 6 1 L 29/00 B

A 6 1 L 27/00 Z

A 6 1 L 15/03

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月22日(2003.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年12月22日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1 事件の表示

平成 9年 特許願 第525,268号

2 補正をする者

名 称 ザ トラスティーズ オブ、コロンビア、ユニヴァーシティ
イン、ザ シティ オブ ニューヨーク。

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号
霞山ビルディング7階 電話(3581)2241番 (代表)

氏 名 (7205) 弁 理 士 杉 村 興 作



- | | |
|-----------|-------|
| 4 補正対象書類名 | 請求の範囲 |
| 5 補正対象項目名 | 請求の範囲 |
| 6 補正の内容 | 別紙の通り |



方 式 査 査



請 求 の 範 囲

1. 医薬製品であって、(i) 約1～10%の親水性ポリマー；(ii) 1～5%のクロルヘキシジン（該クロルヘキシジンは基本的にクロルヘキシジン遊離塩基とクロルヘキシジン塩からなる）；および(iii) 0.5～5%のトリクロサンを含んでなる処理溶液の処理により被覆及び／又は含浸させてなる、前記医薬製品。
2. 天然ゴムラテックスおよび生物医学的ポリウレタンから選ばれる親水性ポリマーから製作されている、請求の範囲第1項記載の医薬製品。
3. 前記処理溶液中の親水性ポリマーが、生物医学的ポリウレタンである、請求の範囲第1項又は第2項記載の医薬製品。
4. 親水性ポリマー医薬製品であって、(i) 約1～10%の疎水性ポリマー；(ii) 1～5%のクロルヘキシジン（該クロルヘキシジンは基本的にクロルヘキシジン遊離塩基とクロルヘキシジン塩の混合物からなる）；および(iii) 0.5～5%のトリクロサンを含んでなる処理溶液を含浸させてなる、前記親水性ポリマー医薬製品。
5. 天然ゴムラテックスおよび生物医学的ポリウレタンから選ばれる親水性ポリマーから製作されている、請求の範囲第4項記載の医薬製品。
6. 前記処理溶液中の疎水性ポリマーが、生物医学的シリコーンポリマーである、請求の範囲第4項又は第5項記載の医薬製品。
7. 前記処理溶液中の前記疎水性ポリマーが、シリコーンポリウレタンコポリマーである、請求の範囲第4項又は第5項記載の医薬製品。
8. 疎水性ポリマー医薬製品であって、(i) 約1～10%の疎水性ポリマー；(ii) 1～5%のクロルヘキシジン（該クロルヘキシジンは基本的にクロルヘキシジン遊離塩基とクロルヘキシジン塩の混合物からなる）；および(iii) 0.5～5%のトリクロサンを含んでなる処理溶液を含浸させてなる、前記疎水性ポリマー医薬製品。
9. 前記医薬製品が、ポリテトラフルオロエチレン、ダクロン（ポリエチレンテレフタレートポリ塩化ビニル）、ポリ塩化ビニル、生物医学的シリコーンポリマー、およびシリコーンポリウレタンコポリマーから成る群から選ばれる疎

水性ポリマーから製作されている、請求の範囲第 8 項記載の医薬製品。

10. 前記処理溶液中の疎水性ポリマーが、生物医学的シリコーンポリマーである、請求の範囲第 8 項又は第 9 項記載の医薬製品。
11. 前記処理溶液中の疎水性ポリマーが、シリコーン-ポリウレタンコポリマーである、請求の範囲第 8 項又は第 9 項記載の医薬製品。
12. 疎水性ポリマー医薬製品であって、(i) 約 1～10%の親水性ポリマー；
(ii) 1～5%のクロルヘキシジン（該クロルヘキシジンは基本的にクロルヘキシジン遊離塩基とクロルヘキシジン塩の混合物からなる）；および(iii) 0.5～5%のトリクロサンを含んでなる処理溶液を含浸させてなる、前記疎水性ポリマー医薬製品。
13. 前記医薬製品が、ポリテトラフルオロエチレン、ダクロン（ポリエチレンテレフタレートポリ塩化ビニル）、ポリ塩化ビニル、生物医学的シリコーンポリマー、およびシリコーン-ポリウレタンコポリマーから成る群から選ばれる疎水性ポリマーから製作されている、請求の範囲第 12 項記載の医薬製品。
14. 前記親水性ポリマーが、生物医学的ポリウレタンである、請求の範囲第 12 項記載の医薬製品。
15. 感染抵抗性医薬製品の製造方法であって、
 - (1) (a) 水、試薬アルコール、テトラヒドロフラン、およびそれらの混合物；および(b) 1対1～1対3のモル比のクロルヘキシジンとトリクロサン（ここで、クロルヘキシジンとトリクロサンの合計重量は含浸溶液の 1～10 重量%であり、該クロルヘキシジンは基本的にクロルヘキシジン遊離塩基とクロルヘキシジン塩の混合物からなる）を含んでなる含浸溶液中に医薬製品を装入し；
 - (2) 含浸溶液中の医薬製品を、該医薬製品が膨潤し、クロルヘキシジンとトリクロサンが導入されるのに十分な時間ソーキングし；
 - (3) 該医薬製品を含浸溶液から取出し；次いで
 - (4) 該医薬製品を乾燥することを含んでなる、前記方法。
16. 工程(1) (a)における溶剤が、試薬アルコールおよびテトラヒドロフランの混合物である、請求の範囲第 15 項記載の方法。
17. 工程(1) (b)におけるクロルヘキシジン遊離塩基とトリクロサンの割合が、約

- 1 対 2 である、請求の範囲第 1 5 項記載の方法。
18. 工程 (1) (b) におけるクロルヘキシジン遊離塩基とトリクロサンの全重量%が、約 2 ～ 1 0 である、請求の範囲第 1 5 項記載の方法。
19. 生物医学的ポリマーを含んでなる塗布溶液で更に塗布されている、請求の範囲第 1 5 項記載の方法。
20. 塗布溶液中の生物医学的ポリマーが、抗菌剤を含んでなる、請求の範囲第 1 9 項記載の方法。
21. ポリウレタンから製作されている、請求の範囲第 1 5 項記載の方法。
22. ポリウレタンカテーテルである、請求の範囲第 2 1 項記載の方法。
23. カテーテルの外表面および内面の両方が、含浸溶液と接触せしめられている、請求の範囲第 2 2 項記載の方法。
24. カテーテルの外表面のみを、含浸溶液と接触せしめる、請求の範囲第 2 2 項記載の方法。
25. カテーテルの内表面のみを、含浸溶液と接触せしめる、請求の範囲第 2 2 項記載の方法。
26. ポリマー医薬製品であって、1 ～ 5 % のクロルヘキシジン（該クロルヘキシジンは基本的にクロルヘキシジン遊離塩基とクロルヘキシジン塩の混合物からなる）を含んでなる処理溶液に含浸させてなる、前記ポリマー医薬製品。
27. 感染抵抗性医薬製品の製造方法であって、
- (1) (a) 水、試薬アルコール、テトラヒドロフラン、およびそれらの混合物；および (b) 重量比で 1 対 1 と 1 対 5 のクロルヘキシジン遊離塩基とクロルヘキシジン塩の混合物（ここで、クロルヘキシジンの合計重量は含浸溶液の 1 ～ 1 0 重量%である）を含んでなる含浸溶液中に医薬製品を装入し；
 - (2) 含浸溶液中の医薬製品を、医薬製品が膨潤し、クロルヘキシジンを導入するのに十分な時間ソーキングし；
 - (3) 医薬製品を含浸溶液から取出し；次いで
 - (4) 医薬製品を乾燥することを含んでなる、前記方法。
28. 前記クロルヘキシジン塩が酢酸クロルヘキシジンである、請求の範囲第 2 7 項記載の方法。

29. 工程(1)(b)におけるクロルヘキシジン遊離塩基と酢酸クロルヘキシジンの割合が、約1対1である、請求の範囲第28項記載の方法。
30. 工程(1)(b)におけるクロルヘキシジンの全重量%が、約2～10である、請求の範囲第27項記載の方法。